

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年7月10日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		24 週	25 週	26 週	27 週
		6月8日 ~ 6月14日	6月15日 ~ 6月21日	6月22日 ~ 6月28日	6月29日 ~ 7月5日
イ新へ急 ス感型A性 フ染コR呼 ル症ロI吸 エナ〜器 ンウ感 ザイル染 症	急性呼吸器感染症(ARI)	400 80.00	376 75.20	364 72.80	370 74.00
	インフルエンザ *				
	新型コロナウイルス感染症 *	1 0.20			2 0.40
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症 *				
	咽頭結膜熱 *	8 2.67	2 0.67	3 1.00	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	6 2.00	13 4.33	5 1.67	11 3.67
	感染性胃腸炎	6 2.00			2 0.67
	水痘	1 0.33	2 0.67		1 0.33
	手足口病		4 1.33	6 2.00	6 2.00
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	4 1.33	3 1.00		1 0.33
	ヘルパンギーナ *	2 0.67		6 2.00	2 0.67
	流行性耳下腺炎				
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎	1 1.00	1 1.00	1 1.00	
基 幹 定 点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎	1 1.00			
拡 張 疾 患	マイコプラズマ肺炎(小児科)				
	川崎病				3
	不明発疹症	1			

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 県内で、手足口病及び水痘の患者報告数が増加しています。
- 手足口病は、手や足、口の中などに水疱性の発疹ができる感染症で、2歳以下の乳幼児を中心に主に夏に流行します。飛沫・糞口感・接触感染により拡大することから、予防は石鹸を用いた手洗いやタオルの共用を避ける等の対策が重要です。
- 水痘の感染対策は右記を御覧ください。
- また、今後流行する可能性としてヘルパンギーナがあります。ヘルパンギーナは、発熱・咽頭痛・口腔内の水疱を特徴とする症候群で、乳幼児を中心に夏場に感染者が増加します。今後の動向に注意してください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生の報告はありません。

- 保健所では、手洗いチェッカーの貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。

手洗いチェッカー



【感染症コラム～水痘～】

- 水痘とは、水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症です。一般的に「みずぼうそう」として知られています。2～8歳で多く見られます。
- 10～21日の潜伏期を経て、38度前後の発熱、体幹を中心とした全身に発疹が出現します。発疹はかゆみを伴い、紅斑、丘疹(盛り上がった赤い発疹)を経て水疱となり痂皮化します。成人ではより重症となり、肺炎や脳炎など重篤な合併症を起こし死亡することがあります。
- 発疹出現の1～2日前から全ての水疱が痂皮化(約6日)するまでは感染性があります。治療には、抗ウイルス薬を使用することがあります。
- 治癒後もウイルスが体内に潜伏するため、抵抗力が落ちた時にウイルスが活性化され、「帯状疱疹」として再発することがあります。
- 感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込む飛沫・空気感染、水痘や粘膜の排出物に触れることによる接触感染です。家族や身近な方が感染した場合は石けんを使用して十分な手洗いを徹底し、タオルの共用は避け、咳エチケットを徹底してください。
- 感染後は終生免疫(生涯その感染症<本コラムでは水痘>)を獲得できることが多いです。その他、2回の水痘ワクチンの接種により、予防、症状の軽症化が期待できます。



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594